

対馬を日ロ友好の架け橋に

〜日本海海戦100周年〜

日露戦争日本海（対馬沖）海戦から100年を迎えた5月27日、日ロ両国の戦没者約5000名を追悼する日ロ合同の慰霊祭が、戦場となった上対馬町比田勝沖海上とロシア艦船の乗組員が漂着した同町殿崎で行われました。

慰霊祭には、金子知事、松村市長（慰霊祭実行委員会会長）やロシア側からロシニコフ駐日大使やコステンコ駐日ウクライナ大使をはじめ、慰霊祭や記念行事を企画した民間団体「対馬歴史顕彰事業推進委員会」の武末裕雄会長などが参列しました。

海上慰霊祭には約350名が海上自衛隊の掃海艇など3隻に乗船して海上で黙とうと献花をしました。約500名が参列した殿崎での陸上慰霊祭では、比田勝小の5年生修行雄介君と4年生の古場友香里さんによる殿崎を「日露友好の丘」と命名する宣言や、負傷したバルチック艦隊司令長官を東郷平八郎連合艦隊司令長官が病棟で見舞うシーンが彫られた「平和と友好の碑」と日露両国の戦没者の氏名を刻んだ「慰霊の碑」の除幕式

が行われました。

また、翌28日には、顕彰委員会による、ロシア兵慰霊碑の除幕式が市内3ヶ所で行われたほか、美津島体育館では記念講演やパネルディスカッションが行われ、講演の前には、「日露・対馬沖海戦についての作文」の入賞者表彰式があり、最優秀賞に平山優子さん（佐護中2年）が、優秀賞に海老名佑紀君（同）、神田貴仁君（比田勝中1年）が選ばれました。最終日の29日には、厳原で日ロの友好と平和を訴える市中パレードやシャインドームみねでは平和友好祈念対馬コンサートも行われました。

日本海海戦とは

明治38年（1905年）5月27日から28日に、対馬沖で日本の連合艦隊とロシアのバルチック艦隊との間で行われた戦いのことです。また外国などでは「Battle of Tsushima」（対馬海戦）と呼ばれています。対馬では、戦火を逃れて漂着したロシア兵を温かくもてなしたと伝えられています。



前列左から松村市長、ロシニコフ大使、コステンコ大使、サクソン・ロシア武官、金子知事、谷川代議士



海上慰霊祭の様子（献花する市長）



「日露友好の丘」の宣言をする修行君と古場さん



「平和と友好の碑」除幕式



市中パレード

雄大な景色とあじさい楽しむ

あじさい祭・パラグライディング対馬大会

6月11日と12日の両日、上
 県町の千俵山(せんたかやま)山エリアで「第
 3回パラグライディング対馬
 大会」が実施されました。

この大会は、韓国が眺望で
 きる絶好の景勝地である対馬
 北部地域の「千俵山エリア」
 をスカイスポーツの国際交流
 拠点として発展することを目
 指し開催するもので、韓国連
 山の雄大な景色と満開の「あ
 じさい」を空から楽しみなが
 ら、2日間の日程での競技と
 なりました。

大会へは大分や長崎、東京
 などのほか韓国からも6名が
 エントリーし、地元対馬のス
 カイクラブもあわせて36名の
 参加でした。

また、大会2日目は「あじ
 さい祭」も同時開催となり、
 競技の合間に40名(11日は30
 名)の希望者がパラグライダ
 ーを体験フライトしました。
 体験した方は「最高でした」
 「もう一度飛びたい」など興
 奮した様子で感想を語って
 くれました。

あじさい祭では、あじさい
 ロード沿いに咲くあじさいを

楽しみながらのウォーキング
 や対馬馬の体験乗馬、材木船
 (藻刈船)体験乗船などもあ
 り、3000人の方が祭を楽
 しみました。
 パラグライディング大会の
 結果は次のとおりです。

(敬称略)

- 優勝〓ジ・ビョンジン(韓
 国・釜山市) 100点 2位
- 〓小川勝良(長崎県・大村市)
 70点 3位〓定村春治(福岡
 県・行橋市) 50点 4位〓宮
 頼孝(長崎県・長与町) 50点
- 5位〓ゴ・デヨン(韓国・
 釜山市) 40点 6位〓梶原小
 八(大分県・玖須町) 30点



優勝のジ・ビョンジンさん



400人がウォーキングを楽しみました



雄大な景色が楽しめました(体験フライトで撮影)



上手に乗れたでしょ(体験乗馬)



帰りは元気になってました



ウォーキングの途中で
 「歩くの嫌だ」と泣いてた子